明小学校 学校だより

令和 7(2025)年 10 月 27 日 第 10 号

みんなのひとみ輝き笑顔あふれる明小学校



全国学力・学習状況調査の結果について



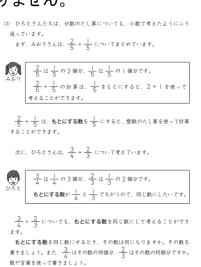
4月17日(木)に6年生を対象として令和7年度「全国学力・学習状況調査」を実施しましたが、平均正答率は、国語は全国・県平均とほぼ同じ、算数は全国より4ポイント・県より3ポイント低い、理科は全国より1ポイント・県より2ポイント高いという結果でした。今後結果を分析して各学年の指導に

活かす、学校や家庭での生活を見直していきたいと思います。

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

国語	6 6	算数	5 4	理科	5 8
		l .			

国語では、複数の資料を読みわかったことや考えたことをまとめる 力が弱いという結果が出ています。事実と感想、意見などとの関係を、 叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力をつ けていく必要があります。また、児童質問紙の中の「国語の解答時間 が十分ではなかった」と回答した児童が全国・県平均より高く、問題 を解くスピードを高めることを授業内でおこなっていかなければな りません。



算数では、ハンドソープの量について、10%増量が元の何倍になるのかを問う問題、目的に応じて適切なグラフを選択 してブロッコリーの出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題、分数の加法について、共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを

数や言葉を用いて記述する問題でつまずきが見られました。 理科では、アルミニウム、銅、鉄の性質を答える問題と記述して回答する問題につまずきがありました。算数、理科に 関わらず記述で答えることを授業内で行っていく必要があ ります。

児童質問紙では、全児童が「将来の夢や希望がある」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめは何がってもいけない」「友だち関係に満足している」「先生は自分の良いところをほめてくれる」と答えています。この結果に満足せず、学校が子どもたちにとって安心・安全な居場所になるよう尽力していきます。反対に、「家庭での学習時間」「学校外での読書時間」「自分とは異なる意見を考えること」「地域や社会のために何かしたい」という項目は県・全国平均より20%以上低くなっています。家庭学習の定着を図るために、各学年でより一層取り組んでいきます。



本村さんの手紙(は、宮倉の変化について等ぶために、みんなで、[資料・]を続くて、一人が特別の病性をうったことにつて調べ、かったことをもとに考えまとめることにしました。「資料・]をよく終んであとの問いに答えましょう。
「資料・]を続くて、「資料・]を持く終んであとの問いに答えましょう。